

地域健康情報誌 [テ・ア・テ]

Vol.23

Te・A・Te

特集

「リハビリは愛！」



2017
夏

社会医療法人
大雄会

リハビリは愛!

「リハビリ(リハ)」と聞けば二本の平行棒につかまって苦しそうな表情で歩く訓練をしている場面がドラマでもよく取り上げられます。でも、平行棒内の歩行訓練はリハ治療のごく一部にすぎませんし、実際の現場では苦悶や苦痛な中で特訓を行う様な場面はありません。今のリハビリテーション医療の現状を簡単にご紹介します。



リハビリテーション科 診療部長 江崎 貞治 医師
 リハビリテーション科 統括部長 木村 隆文 医師
 リハビリテーション科 医師 菅 亜吏可 医師

急性期の リハビリ

昔は「病気は安静に」と言われていましたが、現在は「ベッドに伏してじっとしている事が身体機能を低下させるリスクである」と認識されています。そのため入院翌日にはベッドから起こして座っていただきます。これだけでも患者さんの将来の状態は改善します。

回復期の リハビリ



▲集中治療室で人工呼吸器や点滴がついても療法士が積極的にリハ介入します。



▲嚥下内視鏡にて食べ物の喉の通過具合(嚥下)を評価しています。



▲トヨタと共同研究を進めてきた最新型の歩行支援に特化したロボットでの訓練。

リハビリの目的と種類

「リハビリ」は病院の中だけで行われるものではありませんが、「院内リハビリ(リハ)」だけをとても歩くことだけでなく着替える・顔を洗う・食べる・トイレ内の動作をする・話す・考えるといった基本的な活動から家事動作(掃除・洗濯・料理等)・外出(買い物・散歩)といった応用行為まで、さらには学校や職場へ

戻る(就学・就労)援助や自動車運転再開の支援まで幅広い活動を対象にしています。

半身不随や骨折の患者さんの「リハビリ」のように落ちた機能を回復し維持するだけでなく、呼吸状態の悪い患者さんや心臓・腎臓の働きの悪い患者さんに対して寿命を延ばす(生命予後の改善)「呼吸器リハ」



大雄会での取り組み



大雄会が目指している「地域の人たちが病気やケガをしてもすぐに治療をはじめ、なるべく早く安心して自宅へ帰る事が出来ようように集中的に介入し、退院後も住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るようサポートする使命」は、国家戦略として取り組みの始まっている「地域包括ケア」の概念そのものです。

超急性期・急性期・回復期・生活期のすべてのステージのリハビリを切れ目なく継続できるような体制で取り組んでいます。また、さらにその内容を日々先進的に発展させていっています。

徹底したリハビリ訓練の特訓(集中的リハ介入)時期です。機能の改善に焦点を当て、療法士だけでなく看護師や家族の人も巻き込んで訓練の質と量を確保し円滑な自宅復帰を進めます。

生活期の リハビリ

入院中は「治す」事が中心に考えられますが、退院後は「暮らす」事がキーワードとなります。退院後が本番なのです。



◀ 自宅に退院後の生活のため、片麻痺があっても料理ができるように訓練します。



◀ リハ室の空風呂でお風呂の入り方の動作訓練。



▶ 心電図を装着し、そのモニターを監視しながら運動負荷を加えます。



◀ 入院中、自宅にスタッフがお邪魔して段差や間取りの情報を集めます。

▶ 巡回バスを使ってバスの乗り降り動作のリハビリ。

「心臓リハ」「腎臓リハ」やがんの手術前や化学療法前から行い体力の低下を抑える「がんリハ」、さらには集中治療室で意識のない状態で人工呼吸器をつけている患者さんに行く「超急性期リハ」まで行っています。

リハビリ科の治療は他の診療科の様に医療者側が手術・注射・投薬等を行い患者さんはそれらを

受ける側といった一方的な関係では成り立ちません。むしろ患者さん自身に「リハビリ」をやらしてもらわないと治療は始まりません。「リハビリ」をいかに有効に行ってもらえるか、そしてその為にはどのように介入していけば良いかがとても大切なこととなります。





教えて! Doctor ドクター

監修:リハビリテーション科
木村隆文 医師

テーマに関する素朴な疑問に
リハビリテーション科の医師がお答えします

Q&A

リハビリ 編



Q リハビリテーション科の医師は 主に何をしていますか?

A 患者さんに起こっている障害がどうして起こっているのか、どうしたら少しでも良くなるか、いつまでにどのくらいまで回復するのか(病態の把握・治療方針と予後予測)といった設計図を描き、そのスケジュール通りにリハビリが進んでいるのかのチェックや、軌道修正をしています。もちろんこれらを有効に行うには医師だけの力では到底できず、看護師・療法士・介護福祉士・社会福祉士といった多職種によるチームワークの力が必要です。

Q 大雄会で行っている 新しいリハビリについて教えてください。

A 大雄会では2016年よりトヨタ自動車パートナーロボット部との共同臨床研究として歩行練習支援型ロボットの使用を開始しています。リハビリの分野でもロボットの導入が始まり、実用化されています。今後、療法士の役割を変えてしまうと予想される「練習支援ロボット」だけではなく、杖や装具の働きをする「自立支援ロボット」・個人の自立を介助する「介護支援ロボット」・癒しを与えるペットのような「認知情動支援ロボット」等がすでに活躍し始めています。近い将来は「人カリハ」が逆に珍しくなる時代がくるかもしれません。



歩行練習支援型ロボットで訓練中の一場面です。
(一見すると皆さんが一般的にイメージするロボットとは違っているかもしれません)



リハビリの難しさ・不思議さ

「リハビリテーション医学」は、「活動」(訓練)を通じて臓器のかたちや働きを変えていきます。例えば、筋トレをすれば筋肉が太くなり筋力が強くなります。勉強でも覚え方を工夫したり繰り返したりすれば、新たな神経回路のネットワークができ記憶されます。「活動」する事によって、スポーツでも勉強でも出来ないことが出来るようになります。しかし、どんな訓練をどのくらいやればいいのでしょうか。出来ないことは行えないので出来るようにならないし、一方、手伝えに行わないので出来るようになりません。例えば、歩けない患者さんを歩けるようにするにしてもこの矛盾を克服する訓練の上手なデザインが必要です。また、訓練は量さえこなせば良いのでしょうか？これも難しい問題です。さらには本人の意欲や認知能力・体力にも訓練効果は大きく左右されます。

代償的 アプローチ

残った機能を鍛え、
失った機能を如何に補うか



機能回復的 アプローチ

障害そのものに
働きかけて鍛えることで
ある程度の機能を向上させる

これまで脳は損傷されると元通りになることはないと考えられ、従って残った機能を鍛え失われた機能をいかに補うか(代償的アプローチ)に重点が置かれていました。しかし、最近の研究で障害そのものが回復する可能性(神経の可塑性)が報告され機能回復的アプローチに対する関心が高まっています。

このようにリハビリの世界にはまだまだ分からない事やチャレンジしなければいけない分野がたくさんあります。

大雄会のリハビリテーション科は新たな分野にも取り組んで患者さんの「動き」が1ミリでもよくなることを願って進んでいきます。



機能回復的アプローチのひとつである促通反復療法(川平法)を当院では2006年より全国に先がけていち早く取り入れてきました。

大雄会では2017年4月に

最新鋭の装置

PET-CT、MRI、SPECT-CT

を導入いたしました。

PET-CT

PETとCTが一体となった装置で、それぞれの検査の特徴である形態診断（CT：形態の異常な変化の診断）、機能診断（PET：良性・悪性などの診断）を一回の検査で行なうことが可能です。新たに導入した装置はPET-CT装置の中で最も広い検出器を搭載し、従来装置よりもシステム感度も上がった高性能な装置です。患者さまへの負担も少なく検査が行なえます。

- ・高画質撮影が可能となり、それに伴う診断精度の向上
- ・検査時間の大幅な短縮
- ・被ばく線量を大幅に減らすことが可能



④ 現在あるPET-CTの中でも最も広い検出器

MRI

磁石の力を利用して体内を画像化する検査で、縦、横、斜めと任意の断面で体内を観察することが可能です。この装置の最大の特徴は非常に広い開口径（トンネルの大きさ）とクラス最小の奥行の設計となっており、加えて一般に暗い装置内（トンネル内）がLED照明により明るい環境にすることによって、より広く感じる設計となっています。この設計により、

- ・従来検査が困難であった重度肥満、脊柱後弯などの患者さまの検査が可能
- ・患者さまへの検査の快適性を向上
- ・検査時の不安や緊張を取り除き、閉所恐怖症や小児の患者さまの検査も期待できる



④ 広くて明るく、奥行も短いトンネルで撮影できます

SPECT-CT

ラジオアイソトープ検査（RI検査）に使用します。注射する薬剤の種類によって、脳血管障害や認知症に対する脳血流検査、虚血性心疾患や心筋症に対する心筋血流検査や全身の骨・腫瘍・炎症の検査等、様々な部位の検査が可能です。新しく導入した装置はSPECT-CTの中でも診断用CTと同等の装置を搭載しています。

- ・CT画像としても十分な診断情報を得ることが可能
- ・SPECT装置から得られる機能画像と、CT装置から得られる形態画像の重ね合わせ画像（SPECT/CT融合画像）の高精度化



④ 微量の放射線を放出する薬剤を注射し、体内から出てくる放射線をガンマカメラで撮像し、画像化する検査（RI検査）





最新鋭PET-CT

一度の撮影で全身を検査できるがん検診

単独検査の他、日帰りや2泊3日コースなどを取り揃え、ご要望に応じて
お一人おひとりに合わせた最適なプランをご提案いたします。

おすすめ

結婚、転職、起業、還暦、孫の誕生など人生の節目に
従業員を守る企業役員、経営者の方に

TEL 0586-26-2008(センター直通)



「かかりつけ医」をお持ちですか？



大雄会のホームページで
あなたの近くの「かかりつけ医」が検索できます。

「かかりつけ医」とは、あなたの健康状態や病気のことなどを
普段からある程度知っており、困った時には身近にいて
適切なアドバイスをくれるお医者さんです。
地域のみなさまへより良い医療を提供するため、近隣の
診療所の先生と大雄会は積極的に連携をおこなっています。

<http://www.daiyukai.or.jp/>



ホームページ右バナー内の
このバナーをクリック

かかりつけ医は
お持ちですか？

施設紹介



総合大雄会病院
〒491-8551 一宮市桜一丁目9番9号
☎0586-72-1211(代)



**老人保健施設アウン
訪問看護ステーション・アウン**
〒491-0101
一宮市浅井町尾関字同者165
☎0586-78-1111(老人保健施設アウン)
☎0586-51-0031(訪問看護ステーション・アウン)



大雄会第一病院
〒491-8551 一宮市羽衣一丁目6番12号
☎0586-72-1211(代)
健診センター: ☎0586-26-2008(直通)



新生訪問看護ステーション・アウン
〒491-8551 一宮市桜一丁目15番19号
☎0586-28-5633
FAX 0586-28-5634



大雄会クリニック
〒491-8551 一宮市大江一丁目3番2号
☎0586-72-1211(代)



大雄会 ルーセント クリニック
〒451-6003 名古屋市西区牛島町6番1号
名古屋ルーセントタワー3F ルーセント・ウェルネスセンター内
☎052-569-6030(健診センター)
☎052-569-6031(内科・婦人科・女性頭痛外来)



今号の表紙 リハビリテーション科(リハ科)職員一同
今号はリハ科のスタッフにご協力いただき、当院のリハビリ
テーションセンターで撮影しました。撮影時に木村医師の
“リハビリは愛!”の掛け声でパッと揃ったポーズ。この合言葉と
ハートマークを造るポーズは、スタッフ全員で集まった時に行う
との事。リハ科は患者さんが目指すゴールにたどり着くよう、
スタッフのチームワークと愛情をもってリハビリに取り組んで
いきます。

企画・発行:
社会医療法人大雄会 経営企画課
☎0586-24-2565
✉kouhou1@daiyukai.or.jp

<http://www.daiyukai.or.jp/>





豚肉となすの蒸し焼き さっぱりごまだれ

コクのあるゴマとお酢の酸味がさわやかな、さっぱりといただける一品です。なすやトマトといった夏野菜は水分をたっぷり含むため体を冷やす作用があります。また、豚肉に含まれるビタミンB1とお酢に含まれるクエン酸にはエネルギー源である糖質の代謝を円滑にする作用があり、疲労回復効果が期待できます。夏バテ防止にもぴったりです。スタミナをつけて、暑い夏を乗り切りましょう！

材料 (2人分)

豚肉 (薄切りロース)	100g
なす	90g (1本)
トマト	100g (1/2個)
みょうが・青じそ	お好みで
練りごま(白)	大さじ1
いりごま(白)	大さじ3
砂糖	大さじ2
しょうゆ	大さじ1
酒	大さじ1
酢	大さじ1



管理栄養士
荒川 聖子



1 なすは縦半分にした後に長く切り、水にさらしておきます。トマトは食べやすい大きさに切り、みょうがと青じそは千切りにします。豚肉は半分の大きさにします。【A】の調味料は混ぜ合わせておきます。



2 フライパンになす、豚肉の順にまんべんなく敷き詰めます。



3 酒 (分量外・適量) を回し入れたら蓋をし、弱火～中火でじっくり蒸し焼きにします。



4 火が通ったら【A】を混ぜ合わせ、火を止めます。器に④、トマト、みょうが、青じそを盛りつけます。

調理時間

12分

栄養価 (1人分)

エネルギー

308kcal

たんぱく質

19.9g

塩分

1.4g

point!

豚肉に含まれるビタミンB1は水溶性のため、茹でずに蒸し焼きにすることで効率よく栄養素を摂取できます。よりヘルシーにしたい方は、豚ロースではなく豚もも肉の代用がおすすめ。1人前あたり40kcal抑えることができます。みょうがと青じそを添えることで風味豊かになります。

